

21 Goodbye Fare Ye Well

1. この歌の説明

このシャンティは、船が帰航する際によくうたわれた歌のひとつです。

ウインドラスやキャプスタン（何れも巻き上げ機）の設置してある場所で歌われました。

寄港地で親しくなった若い女達とも哀しい別れの時がやってきたが、一方で懐かしい故郷に帰ることが出来る嬉しさもある、と言った船乗り達の複雑な心の内が見えていて、とても哀感のある詩です。メロディーも静かで大変美しいものです。

多くのヴァージョンがあるのも特徴です。

“Homeward Bound”とか“Goodbye And Farewell”としても知られています。

2. この歌の日本語訳

さようなら、元気でな、さようなら、ご機嫌よう、
さようなら、さようなら、
達者でな、かわいい娘さん達、
喜んでくれ、おまえ達、おれたちはいよいよ帰航するんだ、

なあ、年寄りの云うことなんか聞くんじゃないぞ、
さようなら、元気でな、さようなら、さようなら、
俺達は、まさしく今日この日に帰航するんだ、
喜んでくれ、おまえ達、おれたちはいよいよ帰航するんだ、

俺達はいよいよ帰航するんだ、そして俺には街のざわめきが聞こえるよ、
さようなら、ご機嫌よう、さようなら、
さあ、キャプスタンを強く引いて、急いで回すんだ、
喜んでくれ、おまえ達、おれたちはいよいよ帰航するんだ、

錨は海底を離れ、帆はすべて張られた、
娘さん達よ、俺達はいよいよ出航だ、名残惜しいがお別れだ、
喜んでくれ、おまえ達、おれたちはいよいよ帰航するんだ、

さようなら、元気でな、さようなら、ご機嫌よう、
さようなら、さようなら、
おお、かわいい娘さん達よ、
喜んでくれ、おまえ達、おれたちはいよいよ帰航するんだ、
喜んでくれ、おまえ達、おれたちはいよいよ帰航するんだ、
さようなら、さようなら、さようなら、達者でいろよ、
さようなら、ご機嫌よう、

註；Fare ye well（道中、ご無事で）、bonny（美しい、きれいな）、hoorah（=hooray,hurrah,ばんざい）、homeward bound（帰航中に）、this very day（まさしく今日この日）、anchor's aweigh（錨が海底を離れて）、spin 'round（急いで回転させる）。

帆船日本丸男声合唱団用資料

解説・日本語訳：宮崎多加雄

№ 5-064